

若く見える人と 老けて見える人の違い

～安全な美容医療を受けるために～

いつまでも若々しく健やかに生きるのはみんなの願いです。しかし、人によっては若く見えたり、老けて見えたりすることがあります。この違いはどこにあるのでしょうか。また、いつまでも若く見られるためにはどのようなことが必要なのでしょう。この講座ではその違いと予防法そして、もし治療を受ける場合に必要となること（治療方針について患者が納得するまで医師と話し合うこと）などを第一線で活躍している形成美容外科医がわかりやすく説明いたします。

日本美容医療協会とは

日本美容外科学会が母体となり、美容医療の情報を提供することを目的に設立された公益社団法人です。美容医療に関するガイドラインの発表や、危険な治療法の注意喚起などをおこなっており、美容外科治療の術前、術後の電話相談も受け付けています。

入場
無料

日時

2016年7月2日(土曜日)
10時～12時 (開場 9時半)

会場

朱鷺メッセ 中会議室201
新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号

対象

一般市民

定員

先着230名

※駐車料金60分無料(A～E)、以後30分ごとに100円

講師 1



安全な美容医療を受けるために

西山真一郎先生

公益社団法人日本美容医療協会 常任理事 / 西山美容・形成外科医院 院長

美容外科治療に必要な知識・技術と(公社)日本美容医療協会の役割を説明。活動内容を具体的に説明いたします。例えば、美容医療トラブルの電話相談やホームページ内で公開相談を協会認定医がボランティアで行います。また、施術に用いる器具や薬剤の安全性を協会会員に告知して、安心できる医療を提供できるようにいたしております。

1968年北海道大学医学部卒業。東京大学形成外科勤務後、西山美容・形成外科医院 院長。公益社団法人日本美容医療協会元理事長現常任理事。

講師 2



周りに気付かれずに安全に若返るには？

～切らずにどこまで若返れるのか？～

鈴木芳郎先生

ドクターズバ・クリニック 院長

切らない治療（ボトックス、ヒアルロン酸、糸、機械）で、ここまで安全にきれいに若返ることが出来ますよという啓蒙と、それらを安全に受けるための医者選びから、注意点までを中心に話したいと思います。

1983年東京医科大学医学部卒業。東京医科大学形成外科講師後、ドクターズバ・クリニック 院長。フェイスリフトの第一人者。

講師 3



若く見える人と老けて見える人の違い

山本光宏先生

やまもと形成外科クリニック 院長

人によっては若く見えたり、老けて見えたりすることがあります。この違いを説明し、美容外科治療ばかりでなく、日頃のちょっとした化粧品や生活習慣を変えるだけで若さが維持できることをお話します。

1985年長崎大学医学部卒業。新潟大学付属病院形成外科勤務後、新潟市にやまもと形成外科クリニック 開設。新潟大学医学部および香川大学医学部非常勤講師。

講師 4



まぶたの加齢

～昔のように目を開けられますか？～

村上正洋先生

日本医科大学武蔵小杉病院形成外科教授

加齢により生じる眼瞼の疾患には、眼瞼下垂症と皮膚弛緩症とあり、ともに視野が狭くなり、それが頭痛や肩こりの原因になると言われています。治療法の基本は手術ですが、大きな負担がかかるものではありません。今回は、昔のように目を開けられようするための解決法をお話させていただきます。

1989年日本医科大学医学部卒業。オーストラリア、ロイヤルアelaide病院留学後、日本医科大学武蔵小杉病院形成外科教授。眼瞼下垂手術の第一人者。

主催：公益社団法人 日本美容医療協会 共催：日本美容外科学会第126回学術集会 後援：新潟県医師会 新潟市医師会 協力：TeNY 医療の広場

参加要項

■参加ご希望の方は、ハガキ又はFAXにて住所・氏名・年齢・電話番号・性別・希望人数をご記入の上、下記までお申度ください。聴講券を送付いたします。(いただいた個人情報は参加希望者に聴講券を送付する目的で使用いたします。)

〒950-0916新潟市中央区米山5-1-35カレントさくら5F TEL 025-241-2522 FAX 025-248-3151
株メディカスタッフプロモーション TeNY 医療の広場事業部宛 「日本美容医療協会 市民公開講座」 係

携帯電話からもアクセスOK!

TeNYホームページ「医療の広場」(PC・スマートフォン)でお申込みできます。 <http://www.teny.co.jp>

TONY

